

世界遺産登録に向けて

佐渡金銀山絵巻をひもとく(18) — 小判に仕上げる —

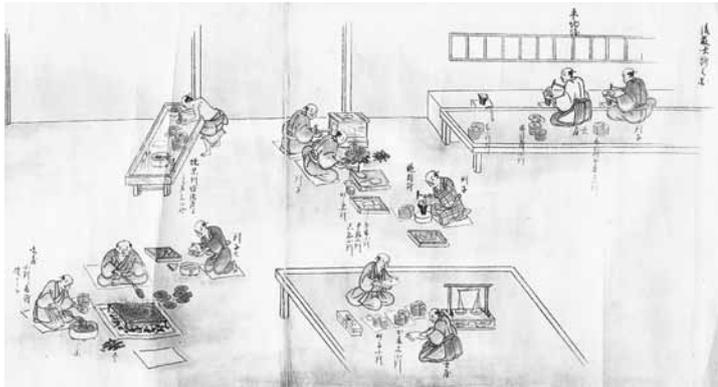
切り分けられた「荒切金」を「吹所」で加熱し、叩いて片方を半円形に整えながら厚さを均等にし、半円の縁を切りそろえます。その形が杓子に似ているところから、これを「杓子小判」といいます。

次に、この小判の片方を叩いて半円形に延ばし、極印を打刻します。これを再度加熱して叩き、小判の形に仕上げでゴザ目をつけます。これを「青小判」といい、縁を切りそろえ目方を調節します。仕上がった小判には、表と裏に極印を打刻します。

小判は硬さを保つため、銀を混ぜているので、銀白色になっています。これを黄金色にするため、色付け薬（硫酸塩や硝酸カリウムなど）にひたしたあと、加熱します。焼き上がったものを水で冷やし、炭の混ざった灰をつけて洗い、塩で磨きます。

出来上がった小判を検査し、目方の足りないものには、「足金」といって切りくずの金を打ち込みます。

◆市役所世界遺産推進課（金井就業改善センター内） ☎63-5136



後藤役所の図 中央上では荒切金を杓子小判に打ち延ばしている。右上ではゴザ目をつけている。左下では小判の色付けを行っている。



佐渡小判(表) 横の筋目をゴザ目という。裏には「㊦」と小判師の極印「㊧」と「吹屋」の極印「㊨」が打刻されている。

生活情報 さど

「あやしい」と思ったら、契約前に消費生活センターへ
ひとり暮らし高齢者をねらう
悪質なリフォーム業者に注意！

リフォームトラブルの事例

・同一業者がたびたび訪問し、自宅が倒壊すると不安をあおられて床下換気扇、耐震金具の取り付けなどを多数契約し、多重債務に陥った。

・水道管の水漏れ点検に来た」と業者が来て、点検終了した後、ついでに床下を点検したところ、「床下部分を補強したほうが良い」と執拗に契約をすすめられた。再三断つたが、契約しないと帰ってもらえそうにないので仕方なく契約。納得いかないので、解約したい。

・男性が訪ねてきて、「この地区の屋根点検をしております。台風に飛ばれているのを見つけた。台風時に飛ばせば、通行人や隣家に当たるかもしれない」と言われ、また無料点検ということだったので、見てもらったら、修理に80万円かかるとのことだった。高額な気もしたが、工事の相談のほか、年金や貯金の話など親身になって話を聞いてくれるので、すっかり信用し、その場で契約してしまった。翌日、友人に話したところ、工事代が高額すぎると言われ、支払も困難なことに気づいた。解約できるのか。な

ど、一人暮らしのお年寄りを狙ったリフォームトラブルが発生しています。

トラブルにあわないための注意事項

・無料点検などうまい話の最終目的は販売と認識しましょう。
・悪質業者は、他社と比較されると相場よりずっと高いことがばれてしまうため、その場で「今ならキャンペーン中で安くします」などと言って契約を迫ってきます。
・あわてて契約せずに、内容と価格を確認し、家族などにも相談し、工事が必要なら信頼できる複数の業者から見積もりをとりましょう。

・「しまったー」と思ったときは、すぐにクーリング・オフ(契約してから8日以内)の手続きをとりましょう。クーリング・オフ期間が過ぎていても解約できる場合がありますので、消費生活センターに早めに相談しましょう。

お問い合わせ

佐渡市立消費生活センター
(佐和田行政サービスセンター内)
(平日)午前9時～午後4時
☎57-8143